

平成20年度病害虫発生予報第9号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
きゅうり	べと病	少	少
	うどんこ病	並	並
	褐斑病	やや少	やや少
	ミナミキイロアザミウマ	並	並
	コナジラミ類	並	並
トマト	黄化葉巻病	並	並
	コナジラミ類	やや多	やや多
	ハモグリバエ類	少	少
レタス	灰色かび病	並	並
	菌核病	並	並
たまねぎ	ネギアザミウマ	並	並
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	炭疽病 (<i>G.cingulata</i>)	並	並
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	やや少	やや少
	ハダニ類	並	並
かんきつ	ミカンハダニ	並	並
	アカマルカイガラムシ	やや多	やや多

【発生予報】 本文の()内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は0.1%(1.8%)、発生圃場率は8.3%(34.1%)であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は2.1%(2.5%)、発生圃場率は58.3%(40.6%)であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率は1.0%、発生圃場率は18.5%)。

4. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.1%(0.3%)、発生圃場率は8.3%(6.3%)であった。

5. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.7%(1.0%)、発生圃場率は16.7%(26.0%)であった。

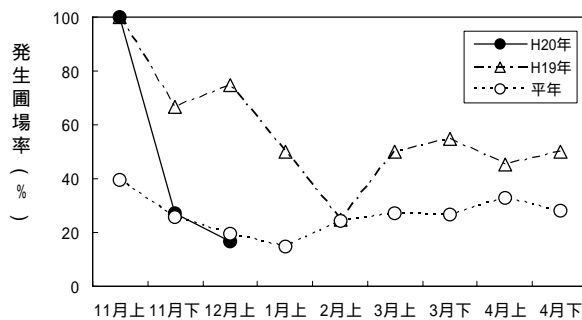


図 きゅうり コナジラミ類 発生圃場率の推移

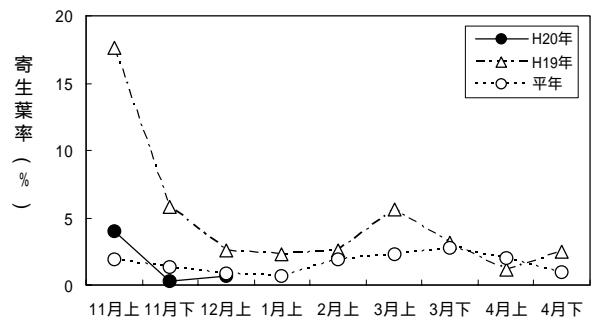


図 きゅうり コナジラミ類 寄生葉率の推移

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.1%(前年0.9%)、発生圃場率は25.0%(前年33.3%)であった。

2. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は2.3%(0.7%)、発生圃場率は58.3%(19.1%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

本虫は強い薬剤抵抗性を持つので、防除薬剤の選定にあたっては十分留意する。

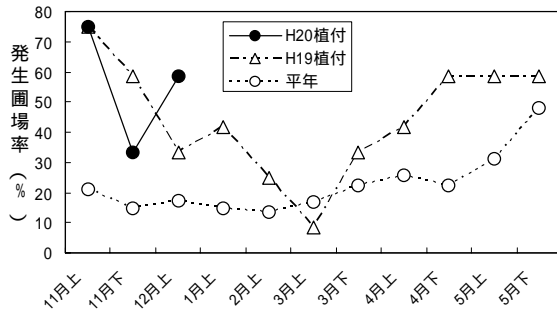


図 トマト コナジラミ類 発生圃場率の推移

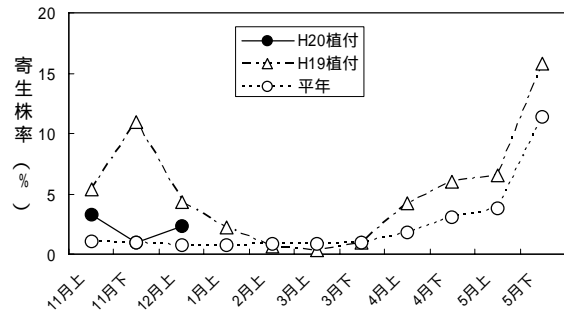


図 トマト コナジラミ類 寄生株率の推移

3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(12筆)の結果、被害葉率は0.3%(2.2%)、発生圃場率は8.3%(46.3%)であった。

レタス

1. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は0.0%(0.0%)、発生圃場率は6.7%(0.0%)であった。

2. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は0.2%(0.1%)、発生圃場率は33.3%(17.9%)であった。

たまねぎ

1. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は7.5%(7.1%)、発生圃場率は60.0%(38.1%)であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率は0.2%(0.4%)、発生圃場率は3.7%(8.7%)、果実では発生を認めなかった(発病果率0.2%、発生圃場率3.6%)。

2. 炭疽病 (*G.cingulata*)

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病株率0.0%(0.0%)、発生圃場率は7.4%(3.7%)であった。

3. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病果率0.0%(0.0%)、発生圃場率は3.7%(4.5%)であった。

4. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.4%(1.6%)、発生圃場率は7.4%(13.6%)であった。

5. ハダニ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は2.5%(2.4%)、発生圃場率は29.6%(16.7%)であった。

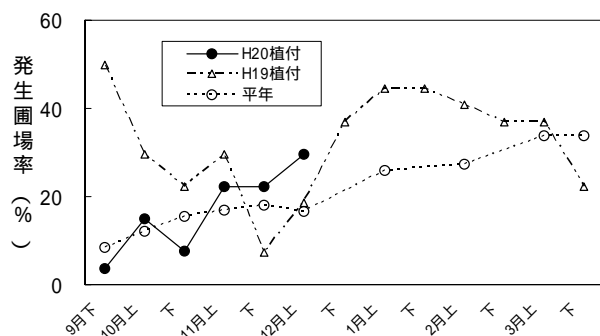


図 いちごハダニ類 発生圃場率の推移

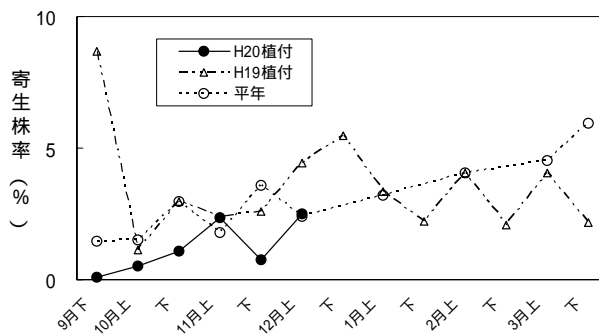


図 いちごハダニ類 寄生株率の推移

かんきつ

1. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

11月下旬の巡回調査(39筆)の結果、寄生葉率は7.0%(6.3%)、発生圃場率は69.2%(47.0%)であった。

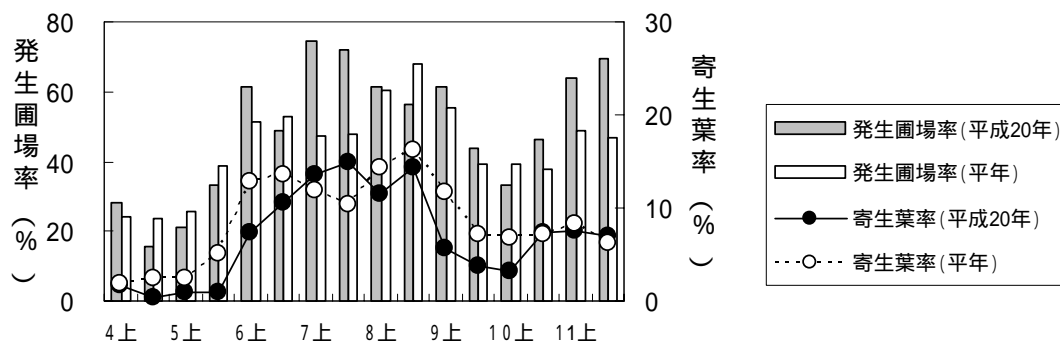


図 巡回調査におけるミカンハダニの発生状況

2. アカマルカイガラムシ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

11月に実施した「温州みかん果実の病害虫発生状況調査」の結果、早生温州における寄生果率は2.2%（平成16年～19年の平均値1.4%）であった。

(3) 防除上注意すべき事項

越冬期間中にマシン油乳剤を散布すると効果が高いため、収穫終了後にマシン油乳剤の散布を行う。ただし、樹勢低下園では落葉を助長することがあるので散布を控える。

【参考】

気象

(平成20年12月12日発表 1か月予報 福岡管区気象台)

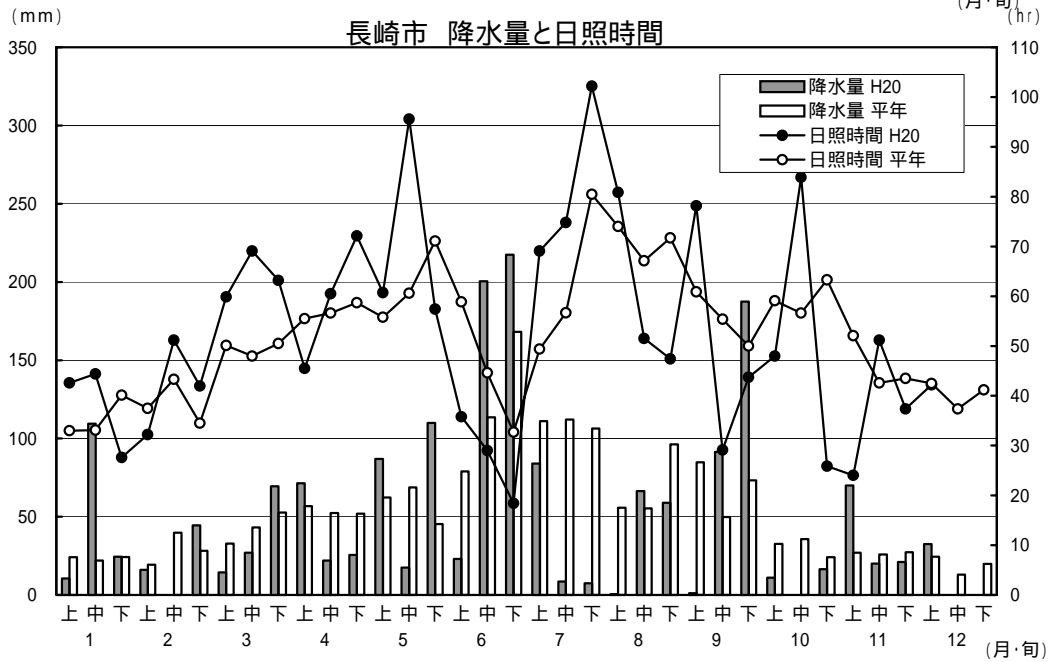
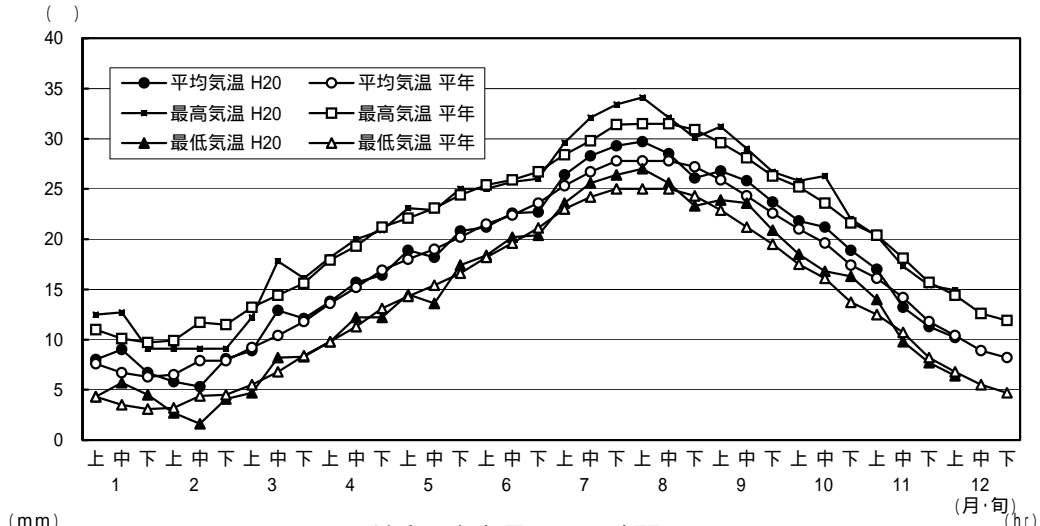
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	20	40	40
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

予報対象地域：九州北部地域

平成20年の気象経過 (長崎海洋気象台)

長崎市 気温



「農薬使用基準の遵守について」

農薬を使用する際には、必ず農薬のラベルをよく読み、農薬使用基準（適用作物、適用病害虫、使用濃度、使用量、使用時期、総使用回数）及び使用上の注意事項を守って、適正に使いましょう。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027